

○ タ イ ト ル : 板橋区医師会 第13回 サバイバーシップ研究会

## 認知症とサバイバーシップ アンケート

○ 日 時 : 令和7(2025)年9月22日(月)19:30~21:00

○ 会 場 : 板橋区立文化会館 4階大会議室

○ 出 席 者 数 : 60名

<内訳>

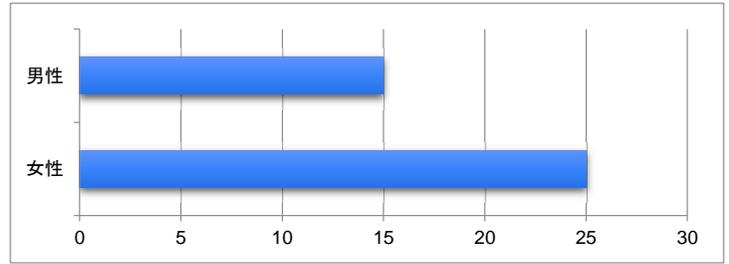
医師	16名
看護師	14名
社会福祉士	5名
医療ソーシャルワーカー	5名
薬剤師	4名
訪問看護師	4名
理学療法士	4名
ケアマネジャー	4名
栄養士	2名
教員	1名
検査技師	1名

○ アンケート回収数 : 40

司会	板橋区医師会 在宅部長	房野隆文
開会挨拶	板橋区医師会 在宅部理事	鈴木快文
レクチャー	「帝京大学脳神経内科物忘れ外来の現状について」 帝京大学医学部脳神経内科学講座 教授	齊藤史明
事例・グループワーク	「医療介入困難な認知症患者へのアプローチ」 帝京大学医学部生理学講座 講師	磯尾紀子
板橋区の認知症対策事業について	板橋区医師会 在宅部長	房野隆文
総括	「認知症患者のサバイバーシップを支える」 帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科 教授	渡邊清高
閉会挨拶	板橋区医師会 副会長	鈴木陽一

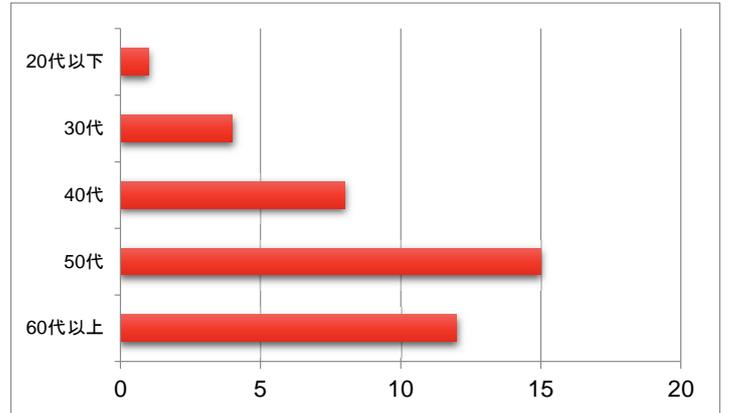
1. 性別を教えてください。

	回答数	比率
男性	15	37.5%
女性	25	62.5%
合計	40	100.0%



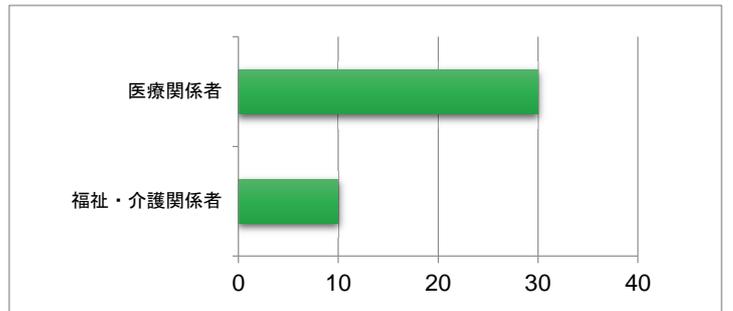
2. 年代をお選びください。

	回答数	比率
20代以下	1	2.5%
30代	4	10.0%
40代	8	20.0%
50代	15	37.5%
60代以上	12	30.0%
合計	40	100.0%



3. 職種をお聞かせください

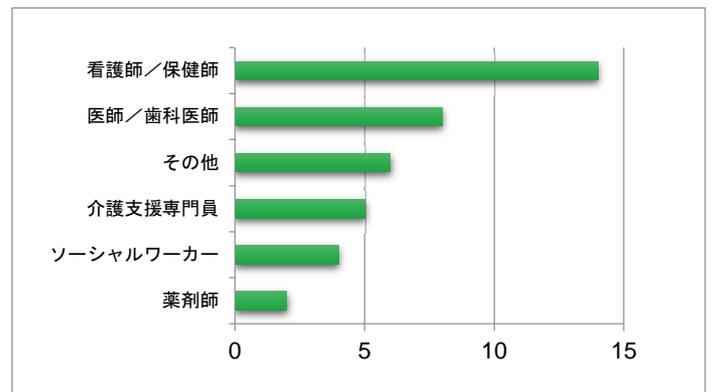
	回答数	比率
医療関係者	30	75.0%
福祉・介護関係者	10	25.0%
合計	40	100.0%



4. 上記で医療関係者および福祉・介護関係者にチェックされた方にお尋ねします。

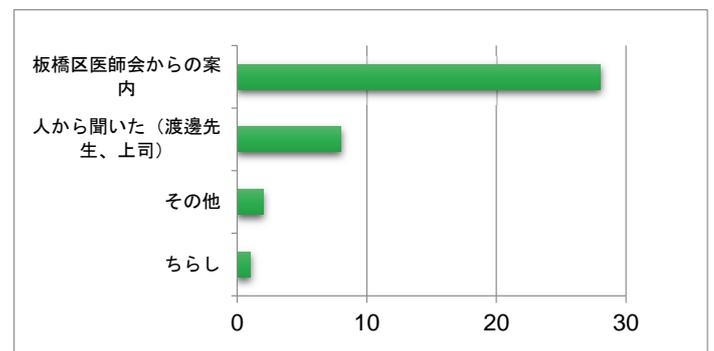
職種・専門分野をお聞かせください。

	回答数	比率
看護師／保健師	14	35.9%
医師／歯科医師	8	20.5%
その他	6	15.4%
介護支援専門員	5	12.8%
ソーシャルワーカー	4	10.3%
薬剤師	2	5.1%
合計	39	100.0%



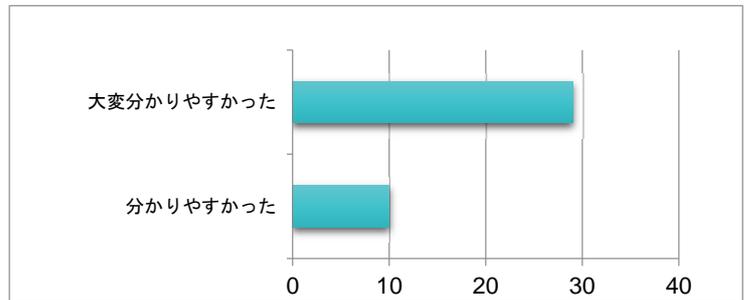
5. 本日の研修会をどこで知りましたか

	回答数	比率
板橋区医師会からの案内	28	72%
人から聞いた(渡邊先生、上司)	8	21%
その他	2	5%
ちらし	1	3%
合計	39	100%



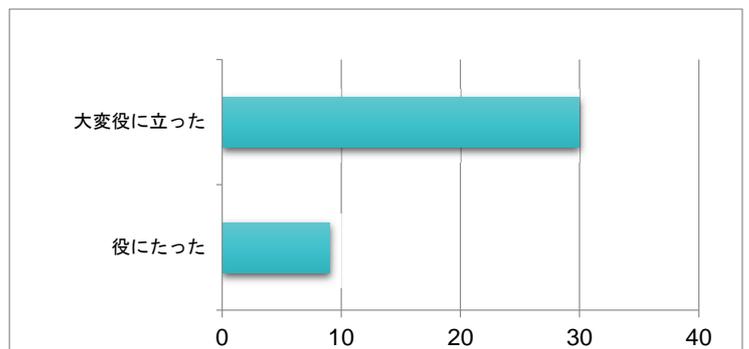
5. 研修会の「内容」は分かりやすかったですか。(5段階で評価してください) (1大変分かりやすかった—5非常に分かりにくかった)

	回答数	比率
大変分かりやすかった	29	74%
分かりやすかった	10	26%
合計	39	100%



6. 研修会の「内容」は役に立ちましたか。(5段階で評価してください) (1大変役に立った—5全く役に立たなかった)

	回答数	比率
大変役に立った	30	77%
役にたった	9	23%
合計	39	100%



## 自由回答

### 【ご意見・ご感想】

#### 1. 学び・知見の獲得

現場や他職種の考え方を知ることができ、非常に勉強になった（12件）

- ・認知症の治療・ケアの最新知識を得られた（5件）
- ・現場の考え方を知ることができた
- ・考え方が柔軟になった など

#### 2. 多職種連携・意見交換の有用性

- ・多職種の意見交換が大変有意義だった（15件）
- ・グループワークが有意義だった（10件）

- ・自由に意見を言い合える雰囲気良かった（3件）
- ・多様な立場の視点を知ることができた
- ・専門職間の交流が刺激になった
- ・チーム医療の大切さを再認識した など

#### 3. 認知症ケアに関する気づき

- ・「正解のない支援」における多職種の議論の重要性を実感した（4件）
- ・患者・家族との関係構築や感情の調整の難しさを認識した（2件）
- ・個別性に応じた支援の必要性を感じた（2件）
- ・背景や家族構成に応じた柔軟な対応、多職種での継続的話し合いが必要 など

#### 4. 専門職としての振り返り・今後への意欲

- ・今後も地域で支援に関わりたい・継続参加したい（3件）
- ・理学療法士など自身の専門性を活かす意欲が高まった（2件） など

#### 5. 運営に関する意見

- ・運営への感謝と評価（6件）
- ・準備が大変だと思うが毎回楽しみにしています
- ・貴重な機会をありがとうございます
- ・時間配分への改善提案（3件）
- ・開始時間を早めてほしい
- ・グループワークの時間をもっと取りたい など

#### 6. 全体評価・印象

- ・素晴らしい会、有意義な時間、今後も続けてほしい（5件） など

### 【テーマについてご意見やご提案】

- ・医療保険制度や介護保険制度を破綻させないために、医療職や介護職、福祉職が取り組めること
- ・多疾患の合併やポリファーマシー等により、生活機能が損なわれている症例
- ・今日と同じような難解なケース提示。
- ・引続きグループワークなど交えた、事例をお願いします。
- ・今回のテーマはよくあるケースだが、そういうテーマもいろいろな意見が今後のヒントになるので、すごく大事だと思った。
- ・身寄りがない方の対応など
- ・家族（遺族）のケア
- ・他の事例もいろいろ話したいです。
- ・フレイル、難病。継続的な医療支援と生活援助。
- ・緩和医療の地域連携について、サバイバーと二人主治医。多職種介入と情報共有について、サバイバーシップとAI診療。
- ・また次回も楽しみにしています。
- ・がん末期、ターミナルの方の在宅療養の様子やサポートする上での課題について、お話をうかがいたい。